

2019年度 乗務員年間指導教育実施計画書

教育月	教育事項	内 容	指 導 方 法	外 部 指 導	実施日
4 月	2. 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	・道路運送法、道路交通法の遵守すべき事項 ・交通ルール等の理解 ・運行指示書の遵守 ・一般国道・高速道路の安全走行	・各法令の概要と理解及び遵守すべきポイントの指導	・NASVA【適性診断】 (随時)	
	新入学(園)児を守る交通安全週間について (重点実施事項の周知)				
5 月	1. 事業用自動車を運転する場合の心構え	・バス事業の公共性と重要性 ・バス事故の社会的影響 ・安全運行の心構え ・接客(挨拶、言動、行動)等について ・服務規程等の社内規律等の遵守	・社会的役割 ・バス運転者の使命 ・事故を起こした場合の影響 ・接客・マナー講習 ・服務規程等の厳守	・接客、マナー講習	
	13. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	・自社で増加している事故 ・頻繁に通る運行ルートでのヒヤリハット	・ドライブレコーダーによる指導		
春の全国交通安全運動について (重点実施事項の周知)					
6 月	5. 旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	・旅客の乗降時、状況に注意した装置の適切な操作の必要性 ・道路状況及び交通状況に応じた安全な停車 ・高齢者・障害者の乗降時の安全確保	・乗降口操作の事故事例 ・SA/PAでの安全確認 ・路上乗降時の安全確保 ・踏み台の使用		
7 月	4. 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項	・装置の急な操作を避けることの必要性 ・乗客の状況を確認 (走行中の着席・シートベルトの着用の徹底)	・車内事故の事例 ・ベルト着用アナウンス・DVDの活用 ・「急」のつく操作の事故事例		
	夏の交通事故防止運動・車内事故防止キャンペーンについて (重点実施事項の周知)				
8 月	7. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法	・各種緊急事態(地震・バスジャック等)の対応を身に付ける ・異常気象の把握 ・緊急事態における救急救命(AED)の講習	・地震対応マニュアル ・バスジャックマニュアル ・火災発生時マニュアル ・応急用具の取り扱い ・非常用信号・消火器等の取り扱い	・救急救命法講習会 (消防)	
	14. 非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い	・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導	・非常用信号・消火器等の取り扱い ・非常口の開閉操作		
9 月	13. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	・自社で増加している事故 ・頻繁に通る運行ルートでのヒヤリハット	・ドライブレコーダーによる指導		
	3. 事業用自動車の構造上の特性及び日常整備点検	・車高、車長、車幅、死角、内輪差及び制動距離等の確認 ・日常点検の励行 ・タイヤの保守及び腐食箇所の確認	・社内での実車教習 ・死角による事故事例 ・オーバーハングの実習 ・内輪差の実習 ・正しい日常点検の実施指導		
秋の全国交通安全運動・自動車点検推進運動について (重点実施事項の周知)					
10月	11. 安全性の向上を図るための装置を備えた貸切バスの適切な運転方法	・運転支援装置に関する性能の理解不足や過大評価による事故発生事例 ・運転支援装置の性能及び留意点	・緊急時における制動装置の急な操作の方法 ・安全性の控除優を図るための装置の理解、活用		
	高齢者交通事故防止運動について (重点実施事項の周知)				
11月	9. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	・長時間連続運転による過労及び飲酒等の生理的要因及び慣れや運転技能の過信などの心理的要因による交通事故の理解 ・飲酒運転、酒気帯び運転、危険ドラッグの使用禁止	・飲酒運転防止の指導 (アルコールの基礎知識) ・過労事故、飲酒事故例 ・2時間以上連続運転禁止		
	13. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	・自社で増加している事故 ・頻繁に通る運行ルートでのヒヤリハット	・ドライブレコーダーによる指導		
エコドライブ強化月間 (重点実施事項の周知)					
12月	6. 主とする運行経路または営業区域における道路及び交通の状況	・運行路線・経路における道路交通の状況を踏まえ、安全に運転するために留意すべき事項を指導 ・冬季における車両の扱い ・冬季道路の走行訓練を実施 (積雪・凍結路面のチェーン装着による事故防止)	・事前の情報把握 ・適切な運行経路の選択 ・安全運行のための留意すべき事項を指導 ・タイヤチェーンの脱着訓練 ・冬季道路走行訓練 ・アイドリングストップの徹底		
	冬の交通事故防止運動・年末年始輸送安全総点検				
1 月	10. 健康管理の重要性	・疾病が要因となる交通事故事例の理解 事故と健康管理の因果関係 ・定期健康診断結果に基づき、生活習慣の改善を図るなど健康管理の重要性の理解	・健康診断の完全受診 ・生活習慣病の改善 ・再検査の場合、個別に指導 ・睡眠時無呼吸症候群		
2 月	7. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法	・危険予測運転の必要性 ・危険予測のポイント ・ドライブレコーダーを利用した危険予知トレーニング(KTY)	・交差点通過時の安全確認 ・判断、運転ミスの重大事故 ・指差確認の徹底 ・事故対応マニュアルの把握		
	12. ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有	・交通事故やヒヤリハット等の事例説明	・ヒヤリハット体験の共有 ・それぞれ共有した事例を基に指導		
3 月	13. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	・自社で増加している事故 ・頻繁に通る運行ルートでのヒヤリハット	・ドライブレコーダーによる指導		
	8. 運転者の運転適性に応じた安全運転	・適性診断結果に基づいた、運転者自らの運転行動の特性を自覚させる ・運転者のストレス等の心身の状態に配慮した適切な指導	・運転適性診断による指導 ・運転記録証明書による指導	・交通事故防止研修会 (バス協)	
シートベルト・チャイルドシート着用強調月間 (重点実施事項の周知)					